

ヤマハ音楽能力検定(エレクトーン演奏グレード5・4・3級)要項

2023年5月改訂版
〈2025年11月補訂〉

目次

<u>試験科目と配点・試験当日の流れ</u>	2
<u>試験当日の注意事項</u>	2
<u>試験科目の概要</u>	3
<u>課題曲一覧</u>	7
<u>試験会場で用意されるエレクトーン機種</u>	8
<u>追試について</u>	9
<u>受験手続きと結果通知</u>	10
<u>課題例</u>	12

本要項は日本国内で実施される試験専用です。諸般の事情により、やむを得ず内容を変更する場合がございます。ご受験の際には必ずウェブサイトをご確認ください。

ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイト

URL : <https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

お問合せ

ヤマハ音楽振興会 グレード事務局

〒153-8666 東京都目黒区下目黒 3-24-22 TEL 03-5773-0815

平日 10:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝 休業)

エレクトーン演奏グレード

試験科目と配点

科 目	配 点
即興演奏 (p.3 参照) (a) (20点) (b) (20点)	40点
初見演奏 (p.4 参照)	20点
楽曲演奏 (p.5 参照) 課題曲 (オリジナルまたはクラシック) 自由曲 自作曲 (3級のみ)	40点
合 計	100点

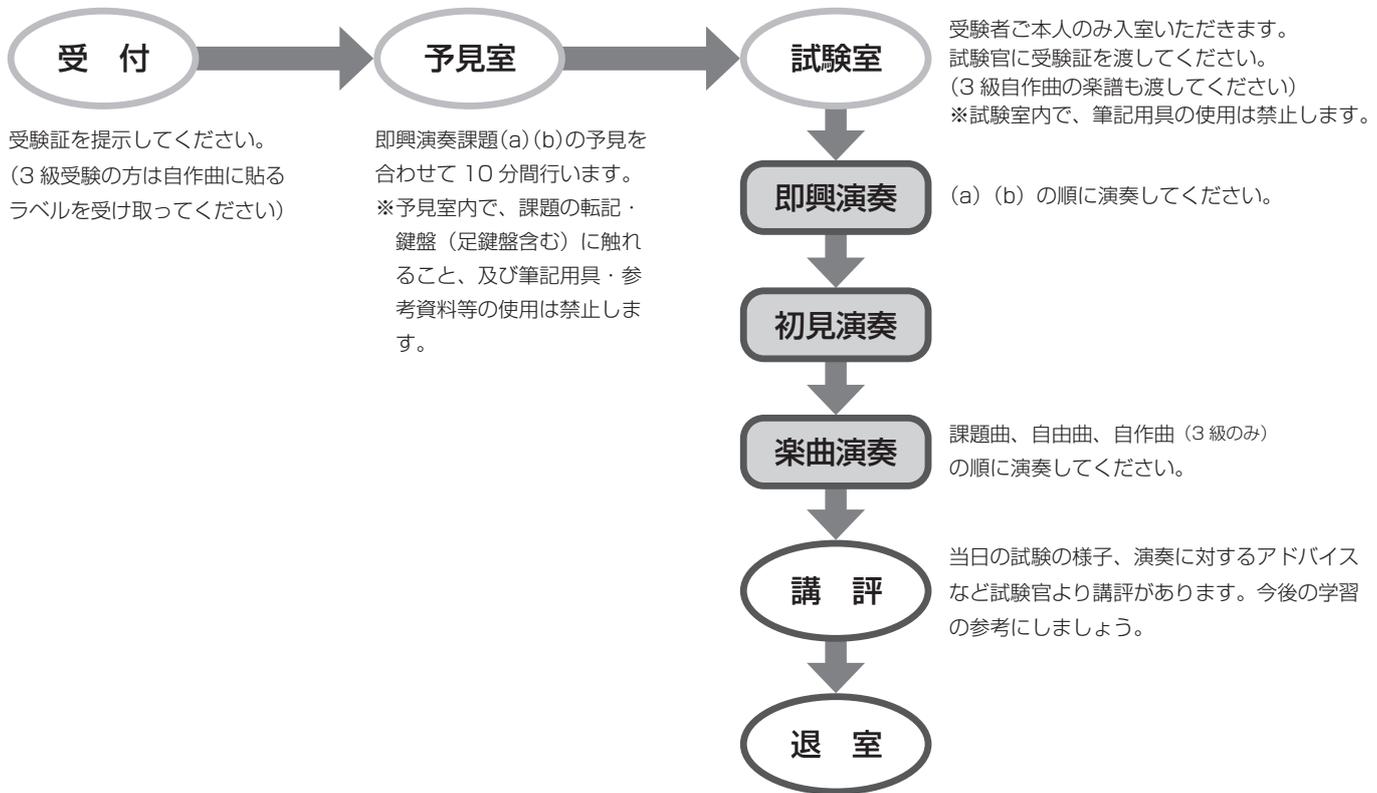
合否について

ヤマハ音楽振興会が認定した試験官2名が審査を行います。

合計点75点以上、なおかつ各科目の得点が配点の50%を満たしていれば合格です。

エレクトーン演奏グレードでは不合格の場合、受験条件を満たした方は追試を受けることができます。追試の詳細については p.9 をご覧ください。

試験当日の流れ (係員及び試験官の指示に従ってください。)



試験当日の注意事項

- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されますと受験できません。
- ※ 利用公共交通機関の支障(不通・欠航など)によるやむを得ない事情の遅刻・欠席は、その旨を当日会場に連絡してください。ただし、道路事情による遅刻(自家用車)は認められません。
- 試験当日の会場での練習はできません。
- 受付手続き終了後は、携帯電話、及びすべての電子機器の電源を切ってください。携帯電話(スマートフォン、スマートウォッチ含む)の時計機能も利用できません。時計のアラーム等、音の出るものは電源を切ってください。
- タブレット(iPad等)については楽曲演奏時のみ使用可とします(それ以外の時間は電源を切ってください)。
- 試験の進行上、やむを得ず試験開始時間が遅くなる場合がございますので、ご了承ください。
- 受験者の以下の行為は不正行為とみなされます。不正を行った受験者には退室していただき、試験結果は無効となります。
 - ① 録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話等を使用し、試験内容を記録する。
 - ② 本人以外の者が偽って受験する。
 - ③ 試験問題を故意に持ち出す。
 - ④ その他不正とみなされる行為。

試験科目の概要

即興演奏

即興演奏課題は (a) (b) 合わせて 10 分間予見をします。予見室内で課題の転記・鍵盤（足鍵盤含む）に触れること、及び筆記用具・参考資料等の使用は禁止します。

即興演奏 (a) 課題の旋律を即興的に編曲演奏します。

	5 級	4 級	3 級
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> 1 コーラス (16 ~ 32 小節の旋律) コードネーム付き ※使用されるコードの範囲: Major, Minor, Dominant 7th, Minor 7th, Minor 7th ♭5 (-5) 2 ~ 3 コーラス 	<ul style="list-style-type: none"> 1 コーラス (16 ~ 32 小節の旋律) コードネームなし 2 ~ 3 コーラス 	<ul style="list-style-type: none"> 1 コーラス (16 ~ 32 小節の旋律) コードネームなし 長さは 2 ~ 3 コーラス程度を目安とする (コーラス指定表記なし)
演奏方法	課題のメロディーに適切な伴奏をつけて演奏した後、即興的に編曲演奏してください。 ※ 1 コーラス目のメロディーは楽譜に記載してある通りに演奏してください。 ※ 5 級は指定されたコードネームに従って適切な伴奏をつけてください。 ※ 指定されたコーラス数をめどに全体をまとめてください。		
評価のポイント	編曲	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた旋律を即興的に編曲し、1つの曲としてまとめる能力 コードネームの正しい理解 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた旋律を即興的に編曲し、1つの曲としてまとめる能力 旋律に対する的確なコードづけ
	演奏	<ul style="list-style-type: none"> 音楽のジャンルを理解し、1つの曲として自然な流れを伴った演奏となっていること ※級が上がるに従い、より高いレベルでの演奏表現が求められる。 	

即興演奏 (b) 与えられた短いモチーフを基に即興的に小品を作り演奏します。

	5 級	4 級	3 級
演奏方法	2 ~ 4 小節程度のモチーフが 3 題出題され、その中から 1 題を受験者自身が選択する。 選択したモチーフを使ってこれを発展させ、小品にまとめる。 形式は自由 (様々な形式)。		
評価のポイント	モチーフ発展	<ul style="list-style-type: none"> 課題のモチーフを使って旋律、和声に自然な流れを作ること 効果的なレジストレーションと的確な様式感、形式感に配慮し 1つの曲として全体をまとめること 	
	演奏	1つの曲として自然な流れを伴った演奏であること ※級が上がるに従い、より高いレベルでの演奏表現が求められる。	

初見演奏

その場で楽譜を読み、音楽を再現します。

課題内容

課題は各級とも2ページ程度の小品です。調、拍子等の範囲は特に定めません。

演奏手順

試験官の指示に従って30秒程度、課題を予見します。このとき、鍵盤（足鍵盤含む）に触れることはできません。そのあと試験官の合図がありますので、レジストレーションをセットして演奏を始めます。

※楽譜どおりに演奏してください。特に指示のない限り♩=♪とは演奏しないこと。

評価のポイント

楽譜から音楽を把握し、すぐに再現できる能力。

即興演奏・初見演奏の課題例は [P.12-](#) をご参照ください。

楽曲演奏

以下の規定に反する場合は、規定曲数不足となり、楽曲演奏の得点が0点になる場合があります。

規定曲数

	課題曲	自由曲	自作曲	計
5級	1曲	3曲	—	4曲
4級	1曲	3曲	—	4曲
3級	1曲	4曲	1曲	6曲

試験室で演奏する曲目、及び曲数はすべて試験官から指示されます。

課題曲

p.7の課題曲一覧に掲載の曲より、受験する級に該当する曲の中から1曲用意してください。

※受験する級以外の課題曲からは選べません。

※p.7の課題曲一覧に掲載されていない曲は選曲できません。

自由曲

すべて異なる作曲家、編曲家の作品から選択してください。

できるだけ幅広いジャンルであることや曲想・テンポ等の違いも考慮し、選曲してください。

※一般に出版されているエレクトーンのための楽曲から選曲してください。

※p.7の課題曲一覧に掲載の曲は自由曲として選曲できません。

※一般に出版されている楽曲以外に、自作曲または編曲作品（自編曲を含む）を自由曲として1曲選曲することができます。

※サポート演奏等、演奏情報及びXG音源を使用している楽曲（データ）で受験することはできません。
演奏情報及びXG音源を全く使用していない場合に限り、自由曲に市販の楽譜用レジストレーションデータを用いることができます。

※曲目の演奏レベル（難易度）については、ヤマハより出版されている5・4・3級表示のある各種エレクトーン曲集を参考にしてください。

自作曲

（3級のみ）

3級では受験者自身が作曲した作品を1曲用意してください。作品の内容については問いませんが、ご自分の演奏能力を充分発揮できるものにしてください。ごく簡単な民謡、わらべうた等を相応に作編曲したものは自作曲とすることができます。

※自作曲楽譜のコピーを試験官に提出していただきます。ご自身の演奏用とは別に用意してください。提出された楽譜のコピーは試験のみに使用し、返却はいたしません。

※規定として義務付けられているのは1曲ですが、自由曲規定のとおり、自由曲に自作曲または編曲作品どちらか1曲含めることもできます。

楽曲演奏における評価のポイント

演奏技術、表現の両面から評価を行います。級が上がるに従い、より高いレベルでの演奏表現が求められます。評価のポイントは以下の通りです。

- 楽曲の魅力を表現できる技術が備わっているか
- 音楽のジャンルを理解し、表現できているか
- レジストを活かした演奏表現ができているか など

楽曲演奏全般について

- 暗譜を奨励しております。楽譜を見て演奏する場合は、受験者自身でできるよう工夫してください。
- コピーの譜面を使用する場合は、演奏中に風などで動かないようご準備ください。
- 楽譜は試験官へ提示いただくことがありますので、暗譜で演奏する場合も必ず全曲持参してください。
- 演奏は時間の都合上、途中で止めさせていただくことがありますのでご了承ください。但し、このことにより判定に影響することはありません。

規定曲数不足となる場合

<課題曲>

- p.7の課題曲一覧に掲載されていない曲を選曲
- 受験する級以外の課題曲を選曲

<自由曲>

- 曲数不足
- 同一作曲家、編曲家の作品から選曲
- p.7の課題曲一覧に掲載の曲を自由曲として選曲
- 一般に出版されている楽曲以外に、自作曲または編曲作品（自編曲を含む）を自由曲として2曲以上選曲
※3級は、規定として義務付けられている1曲（自作曲）に加えて、自由曲に自作曲または編曲作品どちらか1曲可
- サポート演奏等、演奏情報及びXG音源を使用している楽曲（データ）から選曲
※演奏情報及びXG音源を全く使用していない場合に限り、自由曲に市販の楽譜用レジストレーションデータを用いることができます

上記に該当する場合は、規定曲数不足となり、曲の差し替えまたは追加ができない場合は楽曲演奏の得点が0点となる場合があります。

課題曲一覧

課題曲は必ず以下の表に記載されている曲の中から選曲してください。

課題曲の楽譜は以下の表の上部に記載の商品タイトルをヤマハぷりんと楽譜サイトにてお求めください。

「ヤマハぷりんと楽譜」サイト <https://www.print-gakufu.com/>

■ JOC エレクトーン作品集（演奏グレード）5級 Vol.1

商品詳細サイト <https://www.print-gakufu.com/score/detail/485607/>

※参考レジストデータをグレードウェブサイトからダウンロードすることができます。

級	コード No.	曲名	作曲者
5級	D-501	早春	野路 知子
//	D-502	ソナタ	山田 真紀
//	D-503	海の伝説	成富 彩加

■ JOC エレクトーン作品集（演奏グレード）5級 Vol.2

商品詳細サイト <https://www.print-gakufu.com/score/detail/485608/>

※参考レジストデータをグレードウェブサイトからダウンロードすることができます。

級	コード No.	曲名	作曲者
5級	D-504	ノームの伝説	小野あずさ
//	D-505	秋の野原で	谷口 真穂
//	D-506	麦畑	田中 鮎美

■ JOC エレクトーン作品集（演奏グレード）4・3級 Vol.1

商品詳細サイト <https://www.print-gakufu.com/score/detail/485609/>

級	コード No.	曲名	作曲者
4・3級	D-301	草原の風をあなたに	谷村 敬子
//	D-302	星に踊る天使たち	中嶋 香子
//	D-303	おもいで	角田 万実

■ JOC エレクトーン作品集（演奏グレード）4・3級 Vol.2

商品詳細サイト <https://www.print-gakufu.com/score/detail/485610/>

級	コード No.	曲名	作曲者
4・3級	D-304	雲にのって	神本 真理
//	D-305	翔和へ ～願いを翼に～	内海菜々美
//	D-306	大空の凱歌	小川 京子

■ エレクトーンクラシック作品集（演奏グレード）5級

商品詳細サイト <https://www.print-gakufu.com/score/detail/485611/>

※参考レジストデータをグレードウェブサイトからダウンロードすることができます。

級	コード No.	曲名	作曲者
5級	D-521	交響詩「わが祖国」よりモルダウ（ヴルタヴァ）	スメタナ
//	D-522	モテット「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K.618	W.A.モーツァルト
//	D-523	組曲「展覧会の絵」よりプロムナード	ムソルグスキー

■ エレクトーンクラシック作品集（演奏グレード）4・3級

商品詳細サイト <https://www.print-gakufu.com/score/detail/485612/>

級	コード No.	曲名	作曲者
4・3級	D-321	「8つの小プレリュードとフーガ第1番」よりプレリュードBWV.553	J.S. バッハ
//	D-322	交響的物語「ピーターと狼」Op.67よりピーターのテーマ	プロコフィエフ
//	D-323	舞踏組曲「眠りの森の美女」よりワルツ	チャイコフスキー

※上記の5級課題曲の参考レジストデータをヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトに掲載していますのでダウンロードして利用することができます。

レジストデータの掲載場所：<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/examination/electone/grade5-3.html>

（受験要項が掲載されている場所に、レジストデータも掲載しています。）

- ・上記課題曲の中には、2022年4月以前に課題曲として指定されていた出版物に収録されている楽曲も含まれています。一部楽譜上異なる箇所がございますが、出版物で既にお持ちの場合は、ぷりんと楽譜として新たにご購入いただく必要はございません。

試験会場で用意されるエレクトーン機種

■ ELS-02C が用意されます。申込画面で ELS-02C を指定してお申し込みください。

※レジストレーションデータを ELS シリーズ (ELS-02、ELS-02X) で準備された方は、ELS-02C で演奏してください。

※ ELS-02C 用の USB フラッシュメモリーは、動作確認済みの推奨 USB フラッシュメモリーをご使用ください。

※ ELS-02C は、バイタライズした楽器を使用する場合があります。

バイタライズした楽器は、USB フラッシュメモリーの挿入位置が異なりますので、ご注意ください。

試験会場の楽器については、会場受付にてご確認ください。

※バイタライズした楽器の場合、ELS-01C 用の椅子を使用することがあります。

※エレクトーン用補助ペダル、エクスペッション用補助ペダルについては試験会場側での用意はありません。

MDR 及び楽器本体の機能の使用に関する注意点

MDR

次に示す要領に従い、楽器本体の MDR を試験で使用することができます。

- MDR の使用範囲は、レジストレーションデータの再生及びレジストレーションチェンジデータの再生のみ。演奏情報の再生は不可とします。
(エレクトーンに内蔵されている XG 音源については一切使用することができません。)
- 演奏情報及び XG 音源を全く使用していない場合に限り、自由曲に市販の楽譜用レジストレーションデータを用いることができます。
- 使用可能な記憶媒体 (メディア) は、USB フラッシュメモリーのみです。楽器への装着・操作は受験者自身で行ってください。

楽器本体の機能

楽器本体に備わっている各種演奏補助機能は、演奏効果を高めるために自由に用いることができますが、各級の演奏レベルを維持することを前提として、使用してください。

その他

当日持参されたレジストレーションデータの不具合については、グレード事務局では責任を負いかねますので、必ず予備のデータをお持ちください。

追試について (ピアノ/エレクトーン演奏グレード共通の内容です)

追試の受験条件

演奏グレードを全科目受験して不合格となった受験者のうち、

各科目の得点が配点の 50% 以上で

- A. 合計点が 70 点以上 (70 点～74 点)
- B. 楽曲演奏を 30 点以上取得

A、B いずれかの条件を満たした方が追試での受験が可能です。
追試を受けることができる場合は、結果通知書に記載があります。

追試有効期間

- 追試の受験条件を満たした全科目受験日より 1 年間です。
例：5 月 21 日全科目試験の受験で、追試の受験条件を満たした場合
翌年 5 月 20 日までに実施される試験において、追試受験が可能です。
- 追試有効期間中にあらためて全科目試験で受験されますと、新規の受験となりその結果が優先されます。
追試期間が残っていても、無効となります。

追試科目

- 合計点を 75 点以上とすることを目標に、1 科目または 2 科目を受験者自身が選択して申し込んでください。
※「即興演奏」は追試の場合でも (a) (b) 両方の課題を行います。
- 申し込み後の科目の変更はできません。
- 追試で申し込んだ科目は、常に最新の点数に書き換えられます。
- 申し込んだ科目のうち受験されない科目があった場合は、その科目は 0 点になります。
追試受験日に欠席された場合は、前回の得点がそのまま残ります。

受験料

各級の全科目演奏グレード受験料と同額です (p.11 参照)。
受験料は、理由の如何にかかわらず返金できません。

申し込み方法

全科目受験時と手順は同じです。試験種類を追試験に指定して、受験する科目を選択してください。

合否

追試で選択した科目の新たな得点と、選択しなかった科目の前回受験時の得点とを合計し、合計点 75 点以上、なおかつ各科目の得点が配点の 50% を満たしていれば合格です。

- 追試の結果が不合格で得点が追試条件の点数を下回っても、一度得た追試資格は 1 年間有効です。有効期間内であれば、次回の試験も追試での申し込みが可能です。ただし、点数は最新のものに書き換えられます。

注意事項

- 追試で受験された場合は点数の更新管理上、その結果通知がお手元に届くまで次の追試の申し込みはできません。

受験手続きと結果通知（ピアノ/エレクトーン/指導グレード共通の内容です）

受験申込から結果通知まで

1 「要項」（本書）をよく読んで、受験するグレードの種類・級を決定

受験資格として、年齢、国籍等の制限はありません。ただし、日本国内に連絡先を有する方とします。受験証、結果通知書の送付先も日本国内のみとします。また、試験で使用する言語は日本語のみです。

2 受験日・受験会場を選択

試験日は毎年、3月に5月～10月分、9月に11月～翌年4月分を発表します。ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトに掲載している日程をご確認ください。

(<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>)

3 1ヵ月前までにウェブサイトより申し込み（p.11をよくお読みください）

試験会場の定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

一度お申し込みいただいた試験内容は変更できません。また、受験料の返金もいたしかねます。試験日、グレード種別、級、会場などをよくご確認ください。

4 10日～1週間前 **受験証** 到着

受験証は、受験日の1週間前までに到着するよう、登録いただいた住所・氏名宛に郵送いたします。

受験日の6日前までに届かない場合は、グレード事務局（表紙参照）まで、至急お問い合わせください。申し込み内容の変更はできません。

- 写真（4cm × 3cm）を所定の位置に貼ってください。
- 演奏グレード受験の場合は、裏面の演奏曲目表に必要事項を記入してください。

5 試験当日（“試験当日の流れ” p.2 参照）

- 会場受付にて**受験証**を提示してください。
- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されると受験できません。
- 係員及び試験官の指示に従ってください。

6 試験後～3週間程度 **結果通知書** 到着

結果通知書は通常、受験日より3週間程度で、登録いただいた住所・氏名宛に郵送いたします。

1ヵ月を過ぎても届かない場合は、グレード事務局（表紙参照）までお問い合わせください。

合格された方には、結果通知書と共に、「合格証書」を送付いたします。

結果通知書、および合格証書の再発行はできません。大切に保管してください。

試験結果や受験経歴に関するお問い合わせには一切応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

住所、氏名等が変更になった際は、結果通知書に添付の「住所等変更届」をお送りください。

受験の申し込み

申し込み方法

ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトの「グレード5・4・3級試験申込」よりお申し込みください。

<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

- 初めてウェブサイトから申し込みをされる方は、ログイン画面にある「新規登録」にて氏名とメールアドレスを登録してください。ログインに必要なユーザーIDと仮パスワードを発行いたします。登録いただいたメールアドレス宛に申込受付後に受付メールを送信しますので、受付メールを受信できるように次のドメイン（@の後ろがドメインです）を受信設定してください。「@ymf-rapport.jp」（設定方法は、Eメール契約問合せ先にご確認ください。）
- 申し込み受付後にグレード事務局より連絡させていただく場合がありますので、上記受付メールとは別に次のドメインの受信設定もお願いします。「@music.yamaha.com」
- ウェブサイトの利用可能時間は、午前8時～翌午前3時です。ただし、メンテナンスのため不定期に停止することがあります。
- 受験料の支払方法は、次のいずれかを申し込み時に選択してください。申し込み後、支払方法の変更はできません。
 - ・コンビニエンスストアにて現金支払い
申し込みから3日以内に受験料をお支払いください。期日までにお支払いが無い場合、申し込みは無効となります。レジにて発行されるお客様控えを必ず受け取り、受験証が届くまで保管してください。
 - ・クレジットカード決済（一括払い）
ウェブサイトからの申し込みと同時に、受験料決済の手続きを完了します。
引落日については、ご利用のカード会社にお問い合わせください。
- 画面の指示に従い、必要項目を入力してください。受験料決済の手続き完了後（コンビニ支払いの場合は入金確認後）受付メールを送信いたします。申し込みから受付メールが届くまでに数日かかることがあります。

申し込み締め切り

お申し込みの締め切りは、試験日の1ヵ月前の同日です。
試験会場の定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

受験料

●ピアノ・エレクトーン演奏グレード

	税込金額	税抜金額	消費税10%
5級	10,450円	9,500円	950円
4級	11,550円	10,500円	1,050円
3級	13,750円	12,500円	1,250円

●指導グレード

	税込金額	税抜金額	消費税10%
5級	9,350円	8,500円	850円
4級	10,450円	9,500円	950円
3級	13,750円	12,500円	1,250円

※受験料は、理由の如何にかかわらず返金できません。あらかじめご了承ください。

※消費税等が変更になった場合は、払込金額も変わります。

申し込み上の注意

- 申し込み後、受験日や内容の変更、申し込みの取り消しはできません。
- 試験時間の指定や希望は承れません。
- 同じ日に実施される試験に複数のお申し込みは受け付けできません。
- 申し込み内容について、グレード事務局より問い合わせをさせていただくことがあります。
不備がありますと、ご希望の受験ができない可能性がございます。

欠席連絡

欠席される場合は、グレード事務局（表紙参照）までご連絡ください。ただし、試験の前日・当日の場合は、受付締切時間までに試験会場へお電話ください。なお、返金や受験日の変更はできません。

※申し込み方法や申し込み締め切りは変更する場合がございます。その際にはヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトにてご案内いたします。（<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>）

課題例 即興演奏 5 級

ELECTONE GRADE 5

即興演奏(a) Improvisation(a)

- ・ 課題の旋律、コードを指定されたコーラス数をめどに即興的に編曲演奏します。
- ・ Improvise an arrangement with the given melody and chords.
- ・ The length should roughly be the written number of choruses.

3 コーラス
3 Choruses

The musical score is written in G major (one sharp) and 4/4 time. It consists of four staves of music. The first staff begins with a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a common time signature. Above the first measure is a triplet of eighth notes: G4, A4, B4. Above the second measure is a G chord. Above the third measure is a C chord. Above the fourth measure is a G chord. The second staff has chords G, Em, A7, and D above the measures. The third staff has chords G, G7, C, and Cm above the measures. The fourth staff has chords G, E7, Am, D7, and G above the measures. The piece ends with a double bar line.

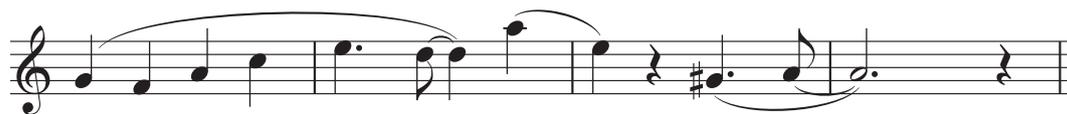
課題例 即興演奏 4 級

ELECTONE GRADE 4

即興演奏(a) Improvisation(a)

- ・ 課題の旋律に適切なコードづけをし、指定されたコーラス数をめどに即興的に編曲演奏します。
- ・ Improvise an arrangement with the given melody while adding the appropriate chords.
- ・ The length should roughly be the written number of choruses.

3 コーラス
3 Choruses



課題例 即興演奏 3 級

ELECTONE GRADE 3

即興演奏(a) Improvisation(a)

- ・ 課題の旋律に適切なコードづけをし、3 コーラス程度をめどに即興的に編曲演奏します。
- ・ Improvise an arrangement with the given melody while adding the appropriate chords.
- ・ The length should be of about 3 choruses.

The musical score is written on five staves. The first staff shows the beginning of the melody in 4/4 time, starting with a quarter note, followed by a half note, and then a series of quarter notes and eighth notes. The second staff continues the melody with a half note, followed by a quarter note, and then a series of quarter notes and eighth notes. The third staff continues the melody with a half note, followed by a quarter note, and then a series of quarter notes and eighth notes. The fourth staff continues the melody with a half note, followed by a quarter note, and then a series of quarter notes and eighth notes. The fifth staff continues the melody with a half note, followed by a quarter note, and then a series of quarter notes and eighth notes, ending with a double bar line.

課題例 即興演奏 5 級

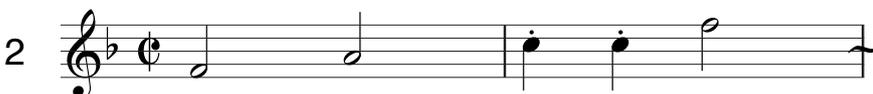
ELECTONE GRADE 5

即興演奏 (b) Improvisation (b)

- 3 種類のモチーフの中から任意の 1 題を受験者が選択します。選択したモチーフを使ってこれを発展させ、小品にまとめます。
- 形式は自由 (様々な形式)
- Select one out of the three motifs provided, and develop the motif into a short piece.
- The piece may be played in any musical form.



- の長さは自由
- any note value

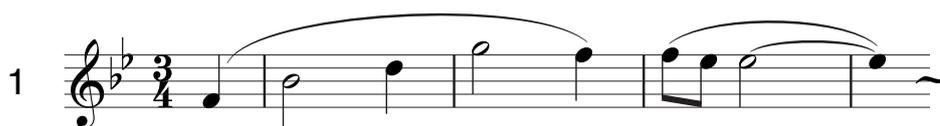


課題例 即興演奏 4 級

ELECTONE GRADE 4

即興演奏 (b) Improvisation (b)

- 3 種類のモチーフの中から任意の 1 題を受験者が選択します。選択したモチーフを使ってこれを発展させ、小品にまとめます。
- 形式は自由 (様々な形式)
- Select one out of the three motifs provided, and develop the motif into a short piece.
- The piece may be played in any musical form.



- の長さは自由
- any note value

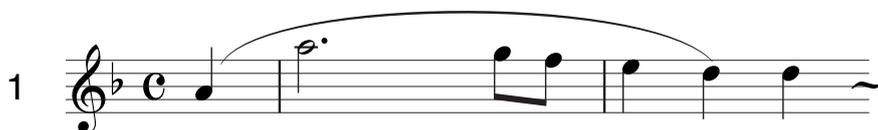


課題例 即興演奏 3 級

ELECTONE GRADE 3

即興演奏 (b) Improvisation (b)

- ・ 3 種類のモチーフの中から任意の 1 題を受験者が選択します。選択したモチーフを使ってこれを発展させ、小品にまとめます。
- ・ 形式は自由 (様々な形式)
- ・ Select one out of the three motifs provided, and develop the motif into a short piece.
- ・ The piece may be played in any musical form.



課題例 初見演奏 5 級

ELECTONE GRADE 5

初見演奏 Sight Playing

- ・ 試験官の指示に従って課題を予見します。(鍵盤・足鍵盤に触れることはできません。)
- ・ 試験官の合図によって、レジストレーションをセットして演奏を始めます。
- ・ Please read the score until the examiner gives a cue.
(You will not be able to touch the keyboards.)
- ・ When the examiner gives a cue, please set the registration and begin playing.

Allegretto

The musical score is written for three systems. Each system consists of a grand staff (treble and bass clefs) and a separate bass line. The key signature is two sharps (F# and C#), and the time signature is 3/4. The tempo is marked 'Allegretto'. The first system includes a dynamic marking 'mf' in the bass line. The music features a melody in the treble and accompaniment in the bass, with various chords and rhythmic patterns.

初見演奏 5 級

First system of musical notation. It consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of two sharps (F# and C#). The middle and bottom staves are in bass clef with the same key signature. The music features a melody in the treble staff and accompaniment in the bass staff. A dynamic marking of *p* (piano) is placed below the first measure of the bass staff.

Second system of musical notation, continuing from the first system. It features similar notation with treble and bass staves. A dynamic marking of *mf* (mezzo-forte) is placed below the fourth measure of the bass staff.

Third system of musical notation, concluding the piece. It features treble and bass staves. Dynamic markings of *f* (forte) and *p* (piano) are placed below the first and fourth measures of the bass staff, respectively, indicating a crescendo and then a decrescendo.

課題例 初見演奏 4 級

ELECTONE GRADE 4

初見演奏 Sight Playing

- ・ 試験官の指示に従って課題を予見します。(鍵盤・足鍵盤に触れることはできません。)
- ・ 試験官の合図によって、レジストレーションをセットして演奏を始めます。
- ・ Please read the score until the examiner gives a cue.
(You will not be able to touch the keyboards.)
- ・ When the examiner gives a cue, please set the registration and begin playing.

Allegretto

The musical score is written for an Electone instrument, featuring two manuals (upper and lower) and a bass line. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is common time (C). The tempo is marked 'Allegretto'. The score is divided into three systems. The first system begins with a dynamic marking of *mf*. The second system begins with a dynamic marking of *mp*. The third system begins with a dynamic marking of *mp*. The music consists of melodic lines in the upper manual, harmonic accompaniment in the lower manual, and a bass line. Various musical notations are used, including slurs, ties, and rests.

初見演奏 4 級

The image displays two systems of musical notation for a piece in G major. Each system consists of three staves: a treble clef staff, a grand staff (treble and bass clefs), and a separate bass clef staff. The first system spans three measures, with the treble staff featuring a melodic line of eighth notes and the bass staff providing a simple accompaniment. The second system also spans three measures, ending with a double bar line. The second system's bass staff includes dynamic markings: a forte (*f*) marking over the first two measures and a *rit. mf* marking over the final measure. The treble staff in the second system has a melodic line that concludes with a dotted half note.

課題例 初見演奏 3 級

ELECTONE GRADE 3

初見演奏 Sight Playing

- ・試験官の指示に従って課題を予見します。(鍵盤・足鍵盤に触れることはできません。)
- ・試験官の合図によって、レジストレーションをセットして演奏を始めます。
- ・ Please read the score until the examiner gives a cue.
(You will not be able to touch the keyboards.)
- ・ When the examiner gives a cue, please set the registration and begin playing.

Allegretto

The musical score is presented in three systems. Each system consists of a grand staff with a treble clef and a bass clef. The first system begins with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The second system starts with a mezzo-forte (*mf*) dynamic, followed by a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The third system also starts with a mezzo-forte (*mf*) dynamic and includes a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The score includes various musical notations such as slurs, ties, and articulation marks.

課題例 初見演奏 3級

The first system of the musical score consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4. It features a melodic line with eighth-note patterns and slurs. The middle staff is in bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4, containing a bass line with dotted quarter notes and eighth notes. The bottom staff is also in bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4, featuring a simple bass line with quarter notes. A dynamic marking of *mf* is placed below the bottom staff.

The second system of the musical score consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4. It features a melodic line with eighth-note patterns and slurs. The middle staff is in bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4, containing a bass line with dotted quarter notes and eighth notes. The bottom staff is also in bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4, featuring a simple bass line with quarter notes. Dynamic markings of *f*, *mp*, and *mf* are placed below the bottom staff.

The third system of the musical score consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4. It features a melodic line with eighth-note patterns and slurs. The middle staff is in bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4, containing a bass line with dotted quarter notes and eighth notes. The bottom staff is also in bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a time signature of 4/4, featuring a simple bass line with quarter notes. A dynamic marking of *f* is placed below the bottom staff.